



7月の聖句「良い木は良い実を結ぶ」～マタイによる福音書 7章17節～

保護者の方々のご理解・ご協力、子ども達の状況に応じた生活スタイル、先生方の衛生管理等によって、令和2年度の1学期も何とか無事に終わることができました。感謝申し上げます。例年以上に、子ども達、教職員の健康に配慮した学校運営となりました。同時に、学校行事や中体連などの各種校外行事は、感染防止をしながらの規模の縮小や中止等により、通常の教育活動ができない状況が続いています。特に、校外での活動は、今後も慎重に検討を重ね計画を立てていかなければならない状況にあると認識しています。今後も何卒、感染状況の推移や急な変更等、状況に応じた対応にご理解とご協力をお願いいたします。

さて、子ども達は、休校・分散登校を経て、ソーシャル・ディスタンスをとりながらも、友達がいる通常の学校生活を満喫していたようです。昨今、通信機器を介しての繋がりが目立つ時代になりましたが、リアリティのある人との繋がりが、(マスク越しではありますが)子ども達の成長に欠かせないもっとも教育的な営みであることを再認識しています。3年生も各部活動ごとに中学校3年間の活動に区切りをつけて、次の目標に向かえたようです。例年になく短い夏休みになりますが、充実した時間を過ごしてくれることを期待しています。



校長 佐藤 祐也

<卒業生からの贈り物>

これまでに本校を卒業した生徒の数は、3千人を超えました。毎年、卒業生から在校生のために、学校生活に必要な品物を「卒業記念品」として寄贈してくれます。昨年度の卒業記念品は『テレビモニター』です。その大きくて見やすいモニターは、昇降口に設置され、登校してきた生徒が、自然に目をやり、毎日のスケジュールを確認しています。



学校には、先輩方が残してくれた数々の品が生活を豊かにしています。代々受け継がれていく卒業記念品ですが、ザベリオには「物」だけではなく、先輩方が大切にしてきた「心」もしっかりと受け継がれているのを感じます。

新型コロナの影響で、様々な活動が制限される異例の年となってしまいましたが、現在ザベリオに通う生徒からは、少しの不満すら聞こえてきません。それどころか、豪雨で被災された方々や弱い立場にある人のために何か出来ないかと行動を起こしている生徒がたくさんいます。

『困っている人に手を差し伸べることが当たり前のできる人間』これこそが、ザベリオを巣立った卒業生から脈々と受け継がれている贈り物だと感じています。

～安全で有意義な夏休みを過ごすために～

明日からいよいよ夏休みです。今年度は例年と比べるとやや少ない日数ですが、それでも普段よりは、時間に余裕をもてる日が多くなるのが夏休みです。規則正しい生活を意識し、以下の点に注意しながら、有意義な夏休みにしてほしいと思います。

◇主な注意点◇

- ・ 交通ルールを守る。(特に自転車乗車中の事故が多いです)
- ・ LINE等SNSでのトラブルや犯罪に巻き込まれないよう家族で話し合う。
- ・ 不審者または不審な電話には応答せず、すぐに警察や家族に連絡する。
- ・ 外出する際は、マスクを着用し、三密を避ける。また、不要不急の外出は極力控える。

楽しい夏休みにするためにも、自分自身や家族を大切に生活してください。



◎2学期始業式は8月20日(木)です。部活動なしで 15時下校となります。牛乳ありでランチ券等の注文も可能です。